

令和８年度 第１回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

開催日時		令和８年６月３０日（火）１３時３０分から１５時００分まで	
開催場所		多摩区役所１階 講堂	
出席者の氏名	委 員	浅谷裕子（多摩区民生委員児童委員協議会） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会） 小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会） 和秀俊（田園調布学園大学） 川村由布子（多摩区地域自立支援協議会） 櫛笥永晴（多摩区医師会）	楠静子（多摩区老人クラブ連合会） 小山富士子（多摩区子ども会連合会） 坂本顕隆（多摩区町会連合会） 島峯諭（多摩区商店街連合会） 眞壁総子（多摩区こども総合支援連携会議）
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・多摩区支え合いのまちづくり推進会議事務局	佐藤直樹（多摩区長） 板尾康章（生涯学習支援担当課長） 大磯慶記（総務課長） 佐藤直子（企画課長） 柏原美由紀（地域振興課長） 上野進（生田出張所長） 大津美和（区民課長） 田村裕（保険年金課長） 土岐岳子（地域みまもり支援センター担当課長） 中山礼子（児童家庭課長） 正木久美子（高齢・障害課長） 高橋みゆき（保護第１課長） 根岸友絵（保護第２課長） 瀧澤祐子（保育所等・地域連携担当課長）	北川直子（地域みまもり支援センター所長） 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 出路幸夫（地域支援課長） 梶野香与子（地域支援課地域サポート係長） 林史大（地域ケア推進課長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整係長） 内田圭（地域ケア推進課企画調整係主任）
	関係者	山宮順子（川崎市多摩区社会福祉協議会地域課長）	
欠席委員		永井浩之（登戸地域包括支援センター）	
議 事		（１）地域包括ケアシステム推進に向けた令和８年度が多摩区の取組について （２）第７期多摩区地域福祉計画の令和７年度事業評価について （３）第８期多摩区地域福祉計画の策定について （４）第８期多摩区地域福祉計画補完ツールの策定について	
傍聴人の数		０名	

配付資料	[配布資料] 資料 1 …名簿 資料 2－1 …地域包括ケアシステム構築に向けた令和 8 年度の主な取組について 資料 2－2 …多摩区地域包括ケアシステムマスコットキャラクターチラシ 資料 3 …第 7 期多摩区地域福祉計画 令和 7 年度事業評価 資料 4 …第 8 期多摩区地域福祉計画の策定について 資料 5－1 …第 8 期多摩区地域福祉計画補完ツールの策定について 資料 5－2 …独自ツールレイアウトイメージ 参考資料 1 …多摩区支え合いのまちづくり推進会議運営要綱 参考資料 2 …多摩区支え合いのまちづくり推進会議について 参考資料 3 …第 7 期各区地域福祉計画（令和 6 ～ 8 年度）における評価に係る考え方について 参考資料 4 …第 7 期多摩区地域福祉計画 令和 7 年度事業評価シート 参考資料 5 …第 7 回地域福祉実態調査報告書（多摩区版） 参考資料 6 …令和 7 年度第 2 回多摩区支え合いのまちづくり推進会議会議録 [冊子資料] 第 7 期多摩区地域福祉計画 冊子、概要版
--------------------	---

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（林課長）	次第1（開会）
	（会議録作成のため録音の承認）
佐藤区長	次第2（挨拶）
事務局（林課長）	・配布資料の確認 ・進行調整役を和委員にお願いしたい旨提案→承認
和委員	僭越ながら進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。 それでは次第に従い議事を進行する。 議事（1）について 事務局から説明をお願いする。
事務局（杉本係長）	次第3（議事） （1）地域包括ケアシステム推進に向けた令和8年度の多摩区の取組について
	資料2－1、2－2の説明
和委員	委員の皆様からご質問・ご意見を伺いたい。 キャラクター制作については様々なご意見があるのではと思うが、いかがか。
小山委員	個人的には、梨と桃のキャラクターが適しているのではないかと感じた。
和委員	キャラクターを含め、今回の取組は幅広い内容になっている。その他、ご質問やご意見を伺いたい。
坂本委員	小中学校で実施している認知症サポーター養成講座について、反応を伺いたい。
地域支援課長	認知症サポーター養成講座の反応は大変多く、実施後のアンケートでは、子どもたちから「（認知症の方に）優しく声をかけたい」「困っていたら手助けしたい」「認知症が怖いというイメージが変わった」等の感想が寄せられている。また、教職員からも、「これまで認知症について学ぶ機会が少なかったが、学びが深まった」との声をいただいている。今年度も引き続き全校で実施するよう進めているところである。
坂本委員	認知症について正しく理解してもらうためには、子どもの頃から学ぶ機会が非常に大切だと思う。昨今、認知症観は変わってきており、認知症を必要以上に怖がるのではなく、正しい理解につなげてほしい。
和委員	子どもへの普及啓発は非常に重要だと思う。引き続き取り組んでいただければと思う。 続いて、議事（2）について 事務局から説明をお願いする。
事務局（内田主任）	次第3（議事） （2）第7期多摩区地域福祉計画の令和7年度事業評価について
	資料3の説明
和委員	委員の皆様からご質問・ご意見を伺いたい。 川村委員から、パサージュ・たまの取組に関連して、現場の中で感じることや、評価の内容についてご意見・ご感想があれば伺いたい。

発言者	発言要旨
川村委員	昨年度、登戸駅南北自由通路で開催したパサージュ・たまでは、立ち止まってご覧になる方も多く、「どんな取組なのか」、「どこでやっているのか」等のご質問をいただいた。また、昨今、就労継続支援B型事業所には、株式会社や合同会社が多く参入しているが、パサージュ・たま実施要綱の改正により、そういった事業所の新たな参加につながった。特に生田地区では就労継続支援B型事業所が増えており、そういったところも巻き込んで、まちづくり、障害に関する普及啓発ができればいいと考えている。
和委員	多摩区では、就労継続支援B型事業所が増えている実感があり、こうした取組を応援していきたいと考える。 続いて、地ケアフォーラムの取組について、実際に参加された楠委員から、ご感想や、参加後の効果について伺いたい。
楠委員	老人クラブの新規加入者はなかなか増えない状況だったが、今回初めて地ケアフォーラムに参加した結果、新たに3名の方が活動に参加してくれた。グラウンドゴルフの見学から参加につながり、大変感謝している。今年度もぜひ、参加させてもらいたいと考えている。
和委員	成果があったということで喜ばしい。地域福祉計画の評価においては、数値化することが困難なものが多く、実際の現場の声や、プロセスも重要な視点である。 続いて、議事（3）について 事務局から説明をお願いします。
事務局（内田主任）	次第3（議事）
	（3）第8期多摩区地域福祉計画の策定について
	資料4の説明
和委員	委員の皆様には、ご自身の所属、関わっている取組から、調査結果を踏まえたご意見、ご感想をお伺いしたい。
小山委員	この調査結果については、町内会・自治会にも共有されているのか。
事務局（杉本係長）	会議用資料として作成したものであり、町内会・自治会への提供は行っていない。
小山委員	とても良い調査結果だと思うので、共有した方が良いのでは。実態調査結果が分かれば、今後の対応について検討することができる。
和委員	調査結果を見える化し、地域で共有することで、課題解決に向けた意識づけにつながると思う。これまでの町内会への情報提供の状況は。
事務局（杉本係長）	（会議資料として）市ホームページには掲載しているものの、直接、町内会・自治会等に対して説明する機会はなかった。いただいたご意見を踏まえ、情報提供について検討したい。
小山委員	子ども会でも、人手不足、高齢化の問題は感じている。子ども会のお祭りには、150人程度の子どもたちが集まるが、そのうち子ども会に加入しているのは50人程度である。負担感があり加入したくないといった声も聞く。他の団体でも同じような悩みを抱えているのではないかと思う。
和委員	現場でなんとなく感じていることが、こうして調査結果として数値で見えるよ

発言者	発言要旨
	うになることで、実際に課題として対応しなければならないという意識に切り替わる。住民が一步踏み出す意識づくりのため、重要なきっかけとなる。 坂本委員から、ご意見、ご感想があればお伺いしたい。
坂本委員	町内会・自治会の課題や担い手不足など、色々な課題がある。統計データを見ると、多摩区はまだまだ成長過程だが、今後、やらなければいけないことは非常に多いと感じた。 計画の構成案の中で、第4章については題名検討中となっているが、ここはボリュームが多く大変なのは。権利擁護事業に関しては、成年後見制度の問題について昨今色々と言われている。福祉施設整備に関しては、特養の不足の問題がある。その他、災害時の体制構築や福祉人材の確保についても、具体的に計画案の中で、どういったことを考えているのか聞きたい。
事務局（杉本係長）	第1章～第4章までは市計画となり、健康福祉局で策定を進めているところである。また、今回、地域福祉計画と同時に、障害や高齢の個別計画も策定を進めている。進捗状況についてはまだ把握できていないが、第2回会議において共有できることがあれば、改めてご報告させていただきたい。
和委員	次回会議にて、共有できることがあれば報告してもらいたい。 調査結果では、一人暮らし高齢者が増えているとのデータがあるが、浅谷委員から、現場の実感を伺いたい。
浅谷委員	6月に一人暮らし高齢者の調査依頼を受け、訪問している。一人暮らしの高齢者は各地区で増えているが、特に男性の方が増えていると感じる。男性は訪問してもなかなか会えない場合が多く、気になっている。 以前、5月の「孤独・孤立対策強化月間」にあわせて、リーフレットを持参して一人暮らしの高齢者の方を訪問してまわったこともあったが、男性の方はなかなか会えなかった。
和委員	男性が訪問に応じてもらえない理由については、どんな要因があると推測されるか。
大澤委員	確かに、訪問に応じてもらえない方が一定数いるという実感がある。「わずらわしい」と感じる面があるのではないかな。いずれにしても、調査を実施する民生委員の方の労力は大変なものである。
坂本委員	男性は地域でのつながりが少なく、職場以外での社会性が低いという傾向があるのでは。もっと地域社会に出ていく必要があると感じる。
和委員	男性が地域に関わることができるようになる工夫についても、ご意見を伺いたい。
島峯委員	過去、民生委員として、一人暮らしの男性の方を訪問した際には、訪問を受け入れてもらえず、強い口調で「帰れ」と言われた。しかしその後、孤独死に至ったという事例を経験したことがある。男性は特に社会性が低いと言えると思う。もっと地域とのコミュニケーションをとる必要があるのではないかな。
楠委員	老人クラブで開催したイベントでは、一人暮らしの90歳の男性が、グラウンドゴルフで優勝したことがある。老人クラブに入っていれば、友愛訪問という形で

発言者	発言要旨
	見守りもあるし、孤立の防止にもつながる。男性は退職後、地域との接点をつくるのがなかなか大変だと思うが、老人クラブへの加入は地域との接点をつくるメリットもある。ぜひ加入を促進していきたいと考えている。
和委員	過去に、退職後の男性を対象とした調査を行ったことがあるが、まさしくそのような実感がある。老人クラブや町内会など、地域における社会性は重要なテーマである。次回の地ケアフォーラムや次期計画でも取り上げられると良いのではないかな。 続いて、多職種連携について、口にするのは簡単だが、実際はなかなか難しい面があるかと思う。櫛笥委員からご意見を伺いたい。
櫛笥委員	多摩区医師会としては、多職種連携の会議として「多摩区在宅療養推進協議会」を開催しており、医師、薬剤師、看護師、ケアマネージャー、地域包括支援センター等が年に1度、集まっている。先日も70名程度の参加者が集まって勉強会・懇親会を開催し、非常に盛り上がった。参加者からは、「こうした機会はなかなか無いので、開催してもらえて嬉しい」との声が多く聞かれており、引き続き開催していきたいと考えている。また、この協議会では、認知症に関する啓蒙も行っているが、市民の関心は高くニーズがあると感じており、こちらも引き続き実施したいと考えている。 多摩区は人口が増えているということだが、他区と比較して、少子化が比較的緩やかであるという認識でよいのか。
浅見副所長	他区に比べると少子化のスピードは緩やかと言えるが、人口増加の要因は主に、再開発の進む登戸・向ヶ丘遊園駅周辺において、大規模マンションの建設が進んでいることによるものである。登戸以外の地区では、局所的に少子化がかなり進行している状況もあり、他区と数年程度のタイムラグがあったとしても、全市的な傾向と同様、多摩区でも少子化が進行しているものと認識している。
櫛笥委員	向ヶ丘遊園では、8月に産科医院が新規開院予定である。そういった状況も合わせて、多摩区を「子育てに良いまち」としてPRできると良いのでは。
眞壁委員	新しい産科医院については、子育て支援者や子育て中の母親たちの間でもかなり話題になっており、関心の高さを感じる。これまでは、「出産難民」という言葉があるように、早期から産む場所を探さなければならない状況だったため、産科医院の新規開院はうれしいニュースである。 近年、少子化は進んでいるが、離職率は上がっておらず、育児休業を取得する方が圧倒的多数である。一時預かりについては、以前は2歳以上の子どもが多数いたが、現在はほとんどが0歳・1歳児という状況である。2歳児以降はほとんどが保育園に通っており、地域で家庭にいるのは0歳児が中心である。子育て支援団体としては、活動もこうした状況に合わせて見直す必要があると考えている。また、「保育園に通えば先生にみてもらえるから」と、家庭でのふれあい遊びなどの関わりが軽視される傾向も感じている。家庭での保育の重要性をどのように伝えていくかについても悩んでいるところである。
和委員	子育て世帯の状況について、貴重なご意見に感謝する。

発言者	発言要旨
	小川委員から、ご意見・ご感想を伺いたい。
小川委員	多世代交流や様々な団体との連携の重要性を感じた。我々ももっと地域と連携し、地域に入っていく必要があると考えている。実態調査結果に関しては、一人暮らしの方が多くなっている、町内会の加入率が低下しているという実感が、データとしてしっかり出ていると感じた。地域でのネットワークの形成は非常に重要と考えており、男性の孤立に関しては、男性料理教室を隔月で開催しているので、ぜひ参加してもらえたらと思う。
和委員	本日いただいた意見を、今後の計画に生かしていただければと思う。 続いて、議事（４）について 事務局から説明をお願いします。
事務局（内田主任）	次第３（議事） （４）第８期多摩区地域福祉計画補完ツールの策定について
	資料５－１、５－２の説明
和委員	ご質問・ご意見があれば伺いたい。この場では短時間のため難しいかと思うが、何かお気づきの点があれば、後ほど事務局へご連絡いただければと思う。 委員の皆様の貴重なご意見に感謝する。以上をもって議事を終了する。進行を事務局へお渡しする。
事務局（林課長）	和委員、議事の進行ありがとうございました。 閉会にあたり、地域みまもり支援センター所長の北川からご挨拶を申し上げる。
北川所長	それぞれのご所属からの貴重なご意見に感謝する。次期計画の策定および地域包括ケアシステムの推進に向けて、いただいたご意見をしっかりと受け止め、第２回会議につなげてまいりたい。長丁場となるが、御協力のほどよろしくお願いしたい。本日はどうもありがとうございました。
事務局（林課長）	以上をもちまして令和８年度第１回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。